2021年5月19日 理事長 寺杣 友秀

2021年度日本数学会秋季総合分科会(於:千葉大学)における開催方法とお願いについて

5月 15 日の臨時理事会で、2021 年度秋季総合分科会はオンライン配信にて開催することとなりました。前回の年会同様に、すべての講演は希望により講演スライドの数学会 HP への期間中の公開と Zoom ウェビナーによるライブ配信をすることが可能です。これに伴って各分科会の連絡責任評議員および特別セッション責任者の方々には下記の要項に従ってご協力を賜りたくお願い申し上げます。

2021年度秋季総合分科会本件に関する 問い合わせ先:meeting-info(at)mathsoc.jp

0. 講演に関する基本的な考え方について

すべての講演は、秋季総合分科会初日に講演アブストラクト(冊子体および電子媒体)を発行することにより、成立したこととみなします。電子媒体の講演アブストラクトは、日本数学会ホームページにて秋季総合分科会期間中(2021年9月14日~17日)に加えて2週間程度公開され、会員のみが閲覧およびダウンロードが可能となります。更に以下のオプションを加えました。

【講演オプション1】(講演スライドのアップロード)

講演者の希望により「講演スライド」を日本数学会ホームページへ掲載することができます. 「講演スライド」は講演アブストラクトと同様に,数学会会員限定で年会期間中に加えて2 週間程度公開され,会員は自由に閲覧およびダウンロードが出来ます.

【講演オプション 2】(動画のライブ配信)

講演者の希望により「講演のオンライン配信(Zoom ウェビナー使用)」を行うことができます。Zoom ウェビナーに必要なアカウントは数学会の方で用意いたします。プログラムの時間通りに行われる「ライブ配信」は数学会会員のみが視聴可能となります。また,通信環境によって視聴できない会員に配慮して,会員は講演日翌日から3日間、Zoom クラウドで保存した動画データが視聴できるようにします。この録画配信は授賞式,受賞講演,総合講演、企画特別講演については賛助会員、(会員からの紹介された)ゲスト視聴者が、その他の講演については賛助会員が視聴可能となります。講演オプション2を選択する講演者は、これらの動画の保存方法や公開範囲・公開期間を理解し、予め録画に関する同意が必要です。尚、講演スライドと録画された映像の著作権は、講演者と数学会の双方に属します。詳しくは

 $https://www.mathsoc.jp/assets/pdf/overview/committee/publication/news20100723/abst_copyright20091107.pdf\\$

https://www.mathsoc.jp/assets/pdf/overview/committee/publication/news20100723/copyright_abstract.pdf

をご参照ください.

1. 一般講演について

(i) 各分科会および特別セッションのプログラム作成のお願い

一般講演の申し込みは、従来通りオンラインシステムを通して行います(5月28日~6月18日). 講演オプション2(動画のライブ配信)を希望する講演者は、申し込み時にプルダウンメニューより「オンライン配信を申し込む」を選択します。従って、プログラムの作成に際しては、講演オプション2を選択した講演とその他の講演とを分けて時間編成をして頂きますようお願い申し上げます。実際には、ライブ配信希望講演に対しては時間を割り当て、その他の講演に対しては日にちのみを割り当てることになります。講演申し込み締め切り後は事務局からご連絡申し上げますので、管理者サイトにアクセスして従来通りプログラムの作成を開始願います。プログラムの提出は

締め切り7月7日(水)15:00

でお願いします。尚、プログラム編成会議は上記締め切り後にメールでのやりとりでさせていただく予定としています。

講演オプション1(講演スライドのアップロード)における「講演スライド」のアップロード期間は、8月20日~30日を予定しています。これについては、日程が近づいてきたら数学会ホームページで周知いたします。

(ii) 座長の選出についてのお願い

多くの講演が Zoom ウェビナーによるライブ配信となります. Zoom ウェビナーは,

(I) ホスト, (II) パネリスト, (III) 視聴者

の3者からなり、座長と講演者はパネリストに属します(簡単な解説が文末にあります). ホストは委託業者から派遣されます。座長は講演全体を仕切る最高責任者です。マイクの受け渡しなどウェビナーの進行については専門の委託ホストがおこないますので、座長は指示を与えてください。座長は希望により委託ホストに共同ホストの希望を申し出ることができます。従って、座長は通常のようなミーティングルームを使った Zoom が使えることは必要となりますので、人選に際してはご留意頂きたくお願い申し上げます。従来の対面形式と同様に、講演数に応じて途中交代していただくことも可能です。分科会・特別セッションによっては Zoom の使用に慣れた座長の確保が困難なこともあると存じます。その場合は、数学会に御相談下さい。

座長選出は

締め切り8月15日(日)

でお願いいたします.

またこれまでのベル係の役割は司会者がおこない、会場校から派遣されます.

2. 企画特別講演,特別講演について

(i) 企画特別講演者の推薦および特別講演者の人選に際してのお願い

各分科会・特別セッションにおかれましては、企画特別講演者の推薦および特別講演者の人選をされていると思いますが、今回のオンライン開催への変更されました。追加のお願いとなりますが、講演オプション1(講演スライドのアップロード)、講演オプション2(動画のライブ配信)のいずれか、またはその両方を希望されるかを確認し、事務局宛てご報告願います。

講演オプション 1 を選択する場合は、講演スライドは PDF ファイルとし、ページ数は $10\sim40$ ページ、容量は 10MB 程度とします.

講演オプション2を希望する場合は、録画撮影の同意が必要ですので講演者に予めご確認願います。尚、ライブ配信日時はプログラムに記載のものとし、動画の保存方法、公開範囲・公開期間は「0. 講演に関する基本的な考えかたについて」に記載の通りです。

また講演スライドと録画された映像の著作権は、講演者と数学会の双方に属します。詳しくは、上記 1. (i)に記載された URL をご参照願います。

すでにお知らせしましたように、企画特別講演者の推薦および特別講演者の人選は、事務局 宛てに

締め切り6月7日(月)

でご連絡ください.

(ii) 座長の選出についてのお願い

1. (ii) と同様です.

3. 分科会・特別セッション委員会のオンライン開催について

前回の秋季総合分科会(熊本大)では、各委員会および評議員の希望によって、Zoom pro のアカウントを発行しました。年間3回以上使用するところは数学会が年間ライセンスを 契約します。新たにアカウントが必要な分科会・特別セッションは、数学会事務局までその 旨お伝え願います。年の開催が2回以下の分科会については、数学会が月単位で契約した Zoom pro アカウントを委員会委員長宛てに発行いたします。

ウェビナーについての簡単な説明:

ウェビナー機能については通常のミーティングルームを使用する Zoom の開催方法に比べて浸透している度合いが低い可能性もありますので、その概要をまずご紹介したいと思います. ウェビナーの機能において参加者は次の3つのカテゴリーから成ります.

- (I) ホスト:パネリストに対してはビデオ,音声付きの発言を管理できる.視聴者に対しては音声のみの発言を管理できる.ウェビナー機能の使い方に慣れておくため,多少の練習の必要がある.
- (II) パネリスト:あらかじめ招待状をうけとっておき、ビデオ、音声付の講演あるいは質疑応答が可能、操作の負担としては通常のミーティングルームを用いた Zoom での参加と

ほぼ同じです.人数には制限がある.座長、一般講演の講演者がここの部分にあたります.

(III) 視聴者: 視聴のための URL を知っているだけで参加できる. 音声による質疑応答はホストにより一時的に許可される. 大人数に対応可能. 講演者以外の一般会員がこの部分にあたります.

https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115005474943